

PDF



メスのアカトンボの名前しらはここをクリック

オスのアカトンボの名前しらべ

1. はねを見る

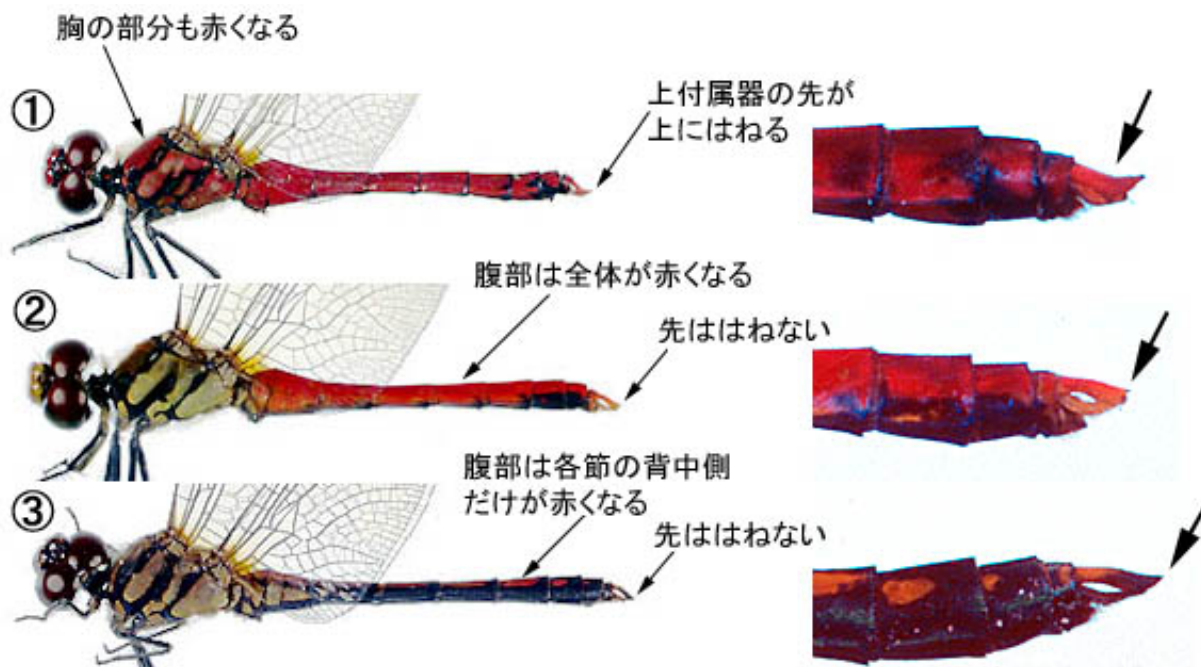
はねに色がついていたり、もようがあるかどうかを調べます。該当する絵をクリックしてください。



1. はねが黄色く色づいて、特に前のへりが黄色い線のようになっています（キトンボ）。
2. はね全体がうすく黄色に色づいています（オオキトンボ）。
3. はねのつけねが赤または黄色く色づいています（ネキトンボ）。
4. はねの先にこげ茶色の部分があります（ 2.へ進む）。
5. はねの先ではなく、すこし内側によったところに赤いバンドがあります（ミヤマアカネ）。
6. はねには色やもようがついていません。時にうす赤く見えることがあるかもしれません（ 3.へ進む）。

2. はねの先にこげ茶色の部分があるもの

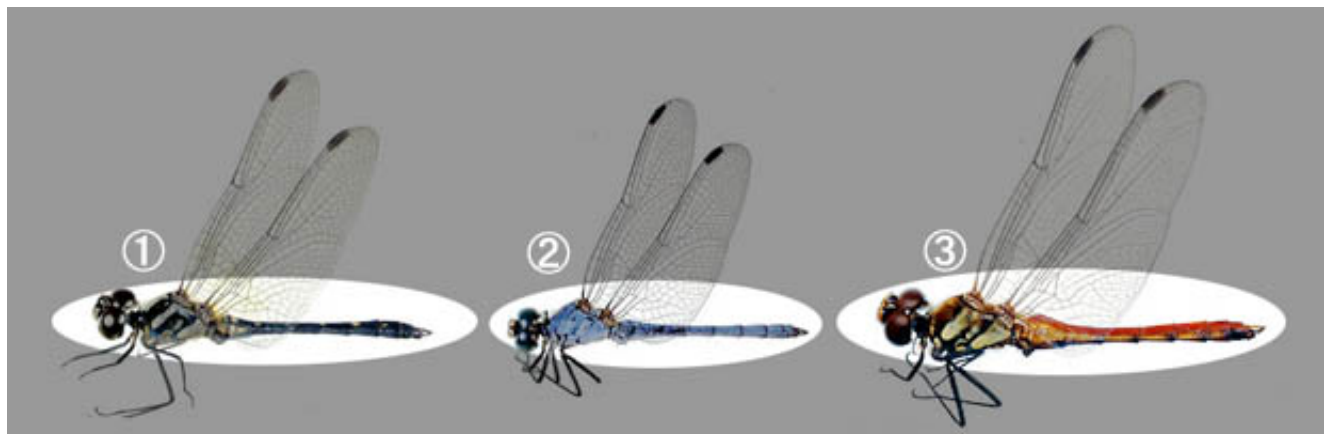
このなかまは胸の横のもようと、腹のもようと、腹部の先を見てください。該当する絵をクリックしてください。



1. 頭の前から腹の先まで赤くなります。胸の横の黒いすじは上の方でつながります。腹の先（上付属器）が上に曲がっています（コノシメトンボ）。
2. 腹部だけが赤くなります。胸の部分は黄色やかっ色です。胸の横の黒いすじは二本が平行です。腹の先（上付属器）は上に曲がりません（リスアカネ）。
3. 全体にかっ色であり赤くなりません。腹部の背中側が、各節ごとに赤くなっています。胸の横の黒いすじは二本が平行です。腹の先（上付属器）は上に曲がりません（ノシメトンボ）。

3 . はねに色やもようがほとんどないアカトンボ

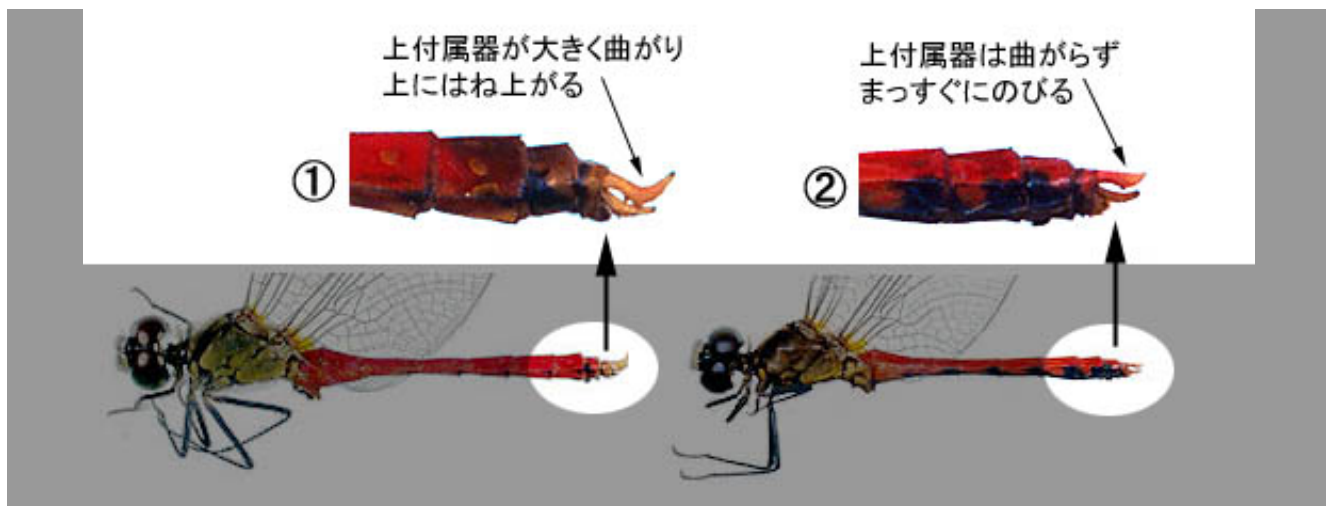
次は体の色を見てみましょう。



1. 体が黒く黄かっ色のもようがまじっています（マダラナニワトンボ）。
2. 体に青灰色の粉をふいたようになっていきます（ナニワトンボ）。
3. 腹部などが赤い色をしています（ 4 . へ進む）

4 . ちょっと難しいアカトンボの区別 - ステップ 1 -

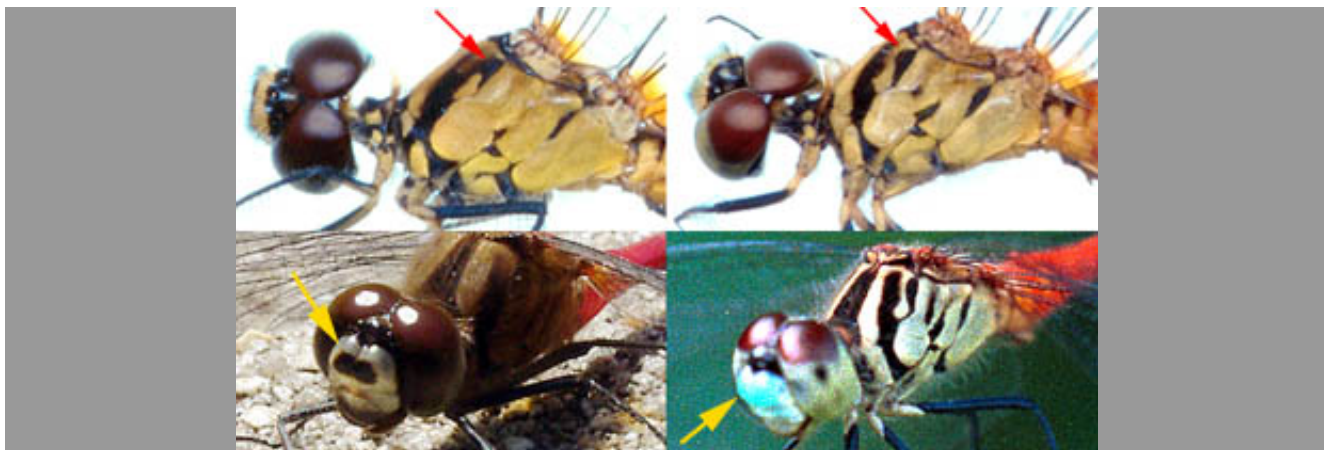
はねのとうめいな、体の赤いアカトンボは、腹部の先（上付属器）をまず見てください。先が曲がり、上にはね上がっているものと、そうでないものに分かります。



1. 腹の先（上付属器）が上にはね上がるように曲がっています（ 5 . へ進む）。
2. 腹の先（上付属器）は曲がらずまっすぐにのびています（ 6 . へ進む）。

5 . ちょっと難しいアカトンボの区別 - ステップ 2 -

はねがとうめいで、体が赤くて、腹部の先（上付属器）の先が曲がって上にはねているアカトンボは、胸の横のもようと顔面を見てください。

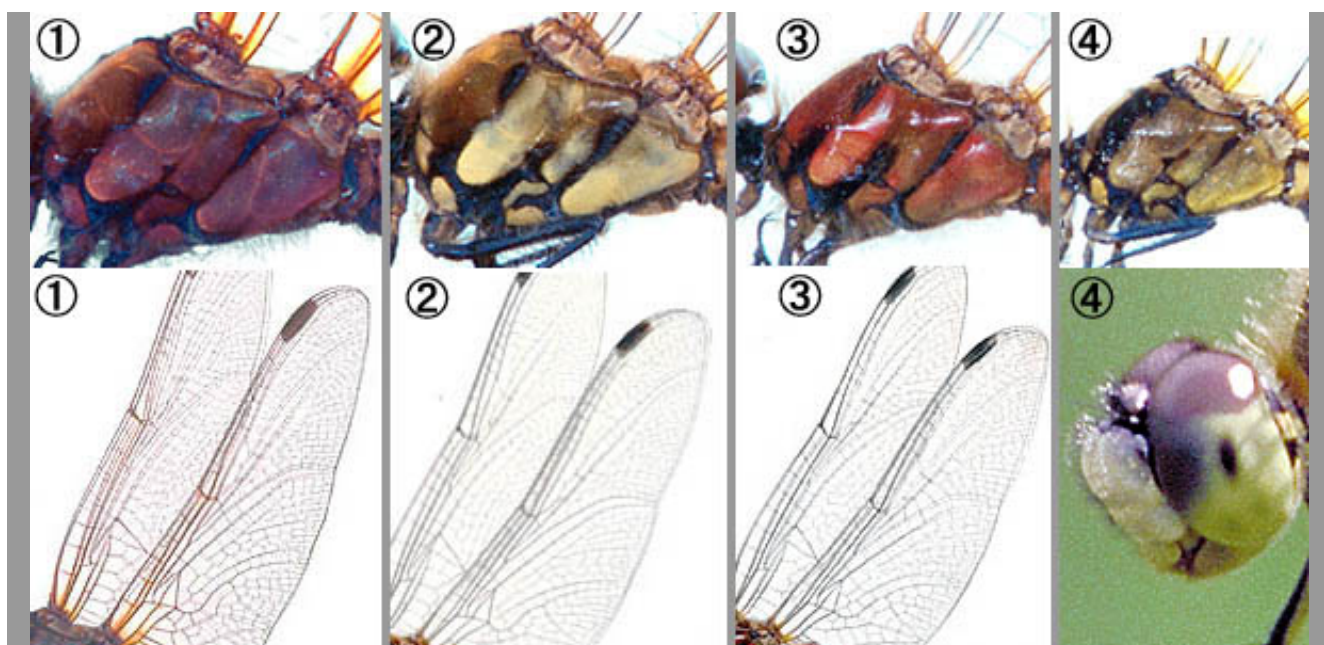


1. 胸の横にはなれた黒い点がありません（赤矢印）。顔面に二つの黒い点（黄矢印）があって、色は黄かっ色です（マユタテアカネ）。
2. 胸の横にはなれた黒い点があります（赤矢印）。顔面は青白い色をしています（黄矢印）。二つの黒い点はふつうはありませんが、ときどきあることがあります。でもあっても小さいです（マイコアカネ）。

6 . ちょっと難しいアカトンボの区別 - ステップ 3 -

はねがとうめいで、体が赤くて、腹部の先（上付属器）の先が曲がっていないアカトンボは、以下の点をくらべましょう。






1. 頭、胸、腹全体が赤紫色になります。はねの脈（翅脈）が赤いので、ルーペでよく観察するといいいでしょう（タイリクアカネ）。
2. 腹部だけが赤くなります。翅の脈は黒色です。顔面はかっ色です（アキアカネ）。
3. 頭、胸、腹全体があざやかな赤になります。翅の脈は黒色です。顔面も赤色になります（ナツアカネ）。
4. 腹部だけが赤くなります。翅の脈は黒色です。顔面は白色です。他より小さいアカトンボです（ヒメアカネ）。

以下は答えのらんです。

アカトンボの写真	解説
	そのトンボは ミヤマアカネ です 昔は山すその水田にはどこにでもいたアカトンボですが、近年非常に数が減りました。幼虫が流れに生活するので、川や水路があるところによく見られます。
	そのトンボは ナツアカネ です 秋には水田で卵をうみます。9月の中旬に稲刈り前の水田へ出かけてみましょう。
	そのトンボは アキアカネ です 代表的なアカトンボで、稲刈り後の水田でよく見つかります。夏は高い山の上で群れをなして止まっています。

	<p>そのトンボはタイリクアカネです 海岸近くの池や、学校のプールなどによく顔を出します。10月ごろに気をつけてみてください。</p>
	<p>そのトンボはマユタテアカネです ふつうに見られるアカトンボです。林のへりや用水路などのそばに止まっていることが多いです。顔面にマユのようなはん点があるので、この名がついています。</p>
	<p>そのトンボはマイコアカネです 顔面が青白くなるアカトンボで、舞妓さんの化粧に例えられてこの名がつけました。平地のヨシなどが茂った池によく見られます。</p>
	<p>そのトンボはヒメアカネです アカトンボの中でももっとも小さくかれます。顔面が白くなり、マユ状のはん点はありません。湿地に見られます。</p>
	<p>そのトンボはリスアカネです 木が池におおいかぶさっているようす暗い場所やその近くの場所に現れます。</p>
	<p>そのトンボはノシメトンボです 水田や、水を落とした池のへりに草むらがあったりすると、そんなところで産卵します。アカトンボの中では大型です。</p>
	<p>そのトンボはコノシメトンボです 学校のプールによくあらわれます。開けた池の何にもない水面に連結して産卵します。</p>
	<p>そのトンボはナニワトンボです まるでシオカラトンボのような色彩をしていますが、小さなアカトンボです。林が池と接しているようなところによくあらわれます。</p>

	<p>そのトンボはマダラナニワトンボです 絶滅危惧 I 類で、兵庫県でも限られたところで見ることができません。 真っ黒なアカトンボです。</p>
	<p>そのトンボはネキトンボです このアカトンボの出現は早く、7月には産卵していることがあります。また幼虫で冬を越します。林のへりにあり、水草がたくさん生えた池によく現れます。はねのつけねのオレンジ色は、生きているときには真っ赤に見えることがあります。</p>
	<p>そのトンボはキトンボです 10月をすぎたからため池に現れるトンボです。数が少なくめったに見られません。</p>
	<p>そのトンボはオオキトンボです 10月をすぎたからため池などに現れるトンボです。どちらかといえば平地の広い池に現れます。絶滅危惧 II 類です。 ショウジョウトンボのメスとまちがえないようにしてください。</p>

